

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年9月14日

131 家畜飼育

調査者氏名 神谷弘司

フィリピン共和国

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Animal Husbandry (A.I.)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 家畜飼育 (人工授精)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 55年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Animal Industry (BAI)
(日本語): 畜産局

ロ. 隊員勤務先名称: National Artificial Breeding Center (別称名所 (国立人工授精所))
所在地: Alabang, Muntinlupa, Metro Manila 主要都市からの距離 (マ) より20キロ

ハ. 事業規模及び内容: 畜産局傘下により輸入凍結精液 (液体凍結) の地方発送、国内製凍結精液の製造及び発送、現地の人工授精師への研修等を実施している。今年度予算規模 125万P (360万円)、正職員 16名、臨時職員 2名。

ニ. 設備概要: 約 80ha の土地に雄牛牛舎 (採精用)、雌牛牛舎 (約20頭、雌牛も人工授精用)、80cm 超長方体サイロ (方形型) 1基、ホップ、NFCコン植栽地/牧草事務所。

(2) 隊員の業務内容: 現在精液採取用雄牛はミュー種水牛2頭、ホリスタイン1頭、レッドブライマン1頭、ウグランドブライマン (不良精液) 2頭、ミュー種若雄水牛 (現在訓練中) 3頭いる。週3回頻度で行なう凍結精液の製造にシフトとして ① NABC (主に水牛から)、② 畜産局と契約している個人大牧場 P-サーファード (肉用牛)、③ フィリピン唯一の乳用牛大牧場 マクリップファームでの凍結精液製造に携わる。又、将来日本式ストロー式の凍結精液に移行するべく、その研究普及、必要機材の調達に任務を負う。その他年に3回~4回1カ月の期間で実施されている現地の人工授精師に対する研修の教官としての任務もある。

- ① 隊員の業務上の地位: 技術指導員。
- ② 技術の範囲: P-サーフ式、ストロー式凍結精液製造に関する技術。人工授精教官としての早期妊娠鑑定から分娩までの鑑定技術。
- ③ 業務の形態: 凍結精液製造にふくまれない他の職員と一緒に仕事はあらず、自らは一本リードしている。しかしリードし教える形態をとりながら、相手に教えられるという印象をよそはいいけない。

- ④ 対象者及び対象年齢: 大卒者で人工授精フィールド歴3年以上、外国研修(6ヶ月)の経験あり。
- ⑤ 現地に利用できる機材: 精液低温処理装置 (FHK, ストロー用、4密式)、液体凍結機、その他人工授精用器具、ゴム手袋、ポリ袋等あり。
- ⑥ 職場における外国人等: なし。⑦ 使用言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 青藤博隊員 (主幹職員、家畜人工授精) の立替申請。徐々に発展していく人工授精プログラムの促進に寄与することを期待している。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 大卒者で実務経験3年以上。② 人工授精フィールド歴1年以上。
 - 3. 可能であれば獣医師がいい。又、凍結精液製造に携わった経験のある人で、兼任時半年30万以上。
 - 4. 海外生活レポート提出が頻繁にできるように努力を要する。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年3月 日

131 家畜飼育

調査者氏名 松尾邦義 小沼康平

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア アラブ共和国	(現地公用語) Animal Breeding (日本語) 家畜飼育	(男) 2人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 55年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): General Organization of Cattle
(日本語): シリア酪農公団 (農業省下)

ロ. 隊員勤務先名称: Fidio Station 日本語名称 (フティオ牧場)
所在地: Fidio, Latakia 主要都市からの距離 (シリアより) 15キロ

ハ. 事業規模及び内容: ホルスタイン、フリースタッド、ジャージー種乳牛を中心とする乳牛
200頭、総頭数500頭のシリア酪農牧場

ニ. 設備概要: 15年前、シリア人により建設されたコンクリート製16頭入りのホルスタイン型
ミルクパーラーを備え、専ら約50頭の乳牛、それにデリーマ型酪農形態である。

(2) 隊員の業務内容: ①: "expert" of dairy cattle breeding (酪農飼養管理の専門技術者)

- ②: 飼料給与、搾乳技術、子牛育成、その他一般乳牛飼養管理。
- ③: シリア公務員に準じて、一日6時間半労働、年間30日の休日が原則。
- ④: 現地人エンジニアはほとんど大卒の専門教育を受けたもの。農業に詳しい程度。
- ⑤: 一般設備は整っている。Alpha-label (スカープレ型) の搾乳機が入っている。
- ⑥: 乳
- ⑦: アラビア語、英語

当牧場の

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現隊員(小沼康平)の経験が非常に高く、現場指導の
経験も豊富で希望している。10月19日にシリア政府から小沼の受入に12ヶ月間
55年2月の派遣を承認した。小沼の半年間の任期延長の可能性は
低いと考えられている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

④年制大学(農学)卒業(農学大、畜産大)卒、(酪農飼養管理の経験2年以上) (酪農飼養管理一般の経験があること) (望む)

上記(2)は酪農公団の各牧場の共通事項です。当公団からの派遣申請書類の審査は12ヶ月
単位で行われます。 (小沼の経験は)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 9 月 4 日

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Poultry	(男) 1 人	訓練開始 57 年 4 月
	(日本語) 142 養鶏	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 57 年 8 月 受入期限 57 年 10 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Agricultural Development Corporation (BADC)

(日本語): バングラデシュ農業開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: Kachimpur Agricultural Development Estate 日本語名称 (カシムプル農業開発農場)

所在地: ダッカ管区サハール郡区カシムプル 主要都市からの距離 (ダッカより 40 マイル)

ハ. 事業規模及び内容: 約 60 エーカーのモデル農場で野菜種苗生産, プラスチック栽培, 農民教育等を行っている。養鶏はアメリカ民間団体 CARE が資金援助を実施している。

ニ. 設備概要: 産卵鶏成鶏舎 2 棟 4 室 (1 室 79m²), 産卵鶏育ち舎 1 棟 3 室 (1 室 23m²), ブロイラー舎 2 棟 10 室 (1 室 23m²), 現在育ち舎 2 棟, 育成舎 2 棟, ケージ鶏舎 1 棟 建築中, 産卵鶏成鶏 800 羽

(2) 隊員の業務内容: 3 ヶ月令 750 羽, ブロイラー 毎週 200 羽出荷。

4 ヶ月の間農場に養鶏場があるが、当カシムプルが中央養鶏場として、4 ヶ月令のヒナを供給している。規模拡大が進んでおり、ブロイラー導入、ケージ鶏舎導入等急ピッチで進んでいる。

① 階級の業種上の地位: 場長の元で活動する。現在はカーターパートがホラオ 実際上の養鶏責任者として、労務管理まで担当しているが、今年中には養鶏オフィサー就任予定。

② 形態: 養鶏場管理者として、場内に住居し、現場指導。

③ 技術範囲: レイヤー、ブロイラー、孵化の 3 部門を管理する。中にはレイヤーである。特に病多はニューカッスル、鶏痘、フライング、CRD、コリシス等があり、ワクチンもケチ。

④ カーターパート: 現在は 11 名だが今年中には赴任予定。

⑤ 機械: テーラー、インキベーター等。規模拡大後の卵番、育ち番等必要と思われる。

⑥ や 3 国人: 野菜 SOCIETY, CARE 側 (農業) 4 人 1 人

⑦ 言葉: ベンガル語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

BADC では養鶏普及に力を入れており、他 3 農場のうちの養鶏場には 2 ヶ月令、流通機構、ヒナの供給、種鶏、病多、鶏舎、飼料等問題も多く、専門的立場からの助言が求められている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専卒以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 4月 17日

132 養 鶏

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Poultry	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 132 養 鶏	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Agricultural Development Corporation (BADC)
(日本語): バングラデシュ農業開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: BADC ADE 日本語名称 ()
所在地: ダッカ 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: BADCは主に供給を中にとし、肥料種子、機械供給を以てしているが、来年度の年計画で、現在4カ所の開発農場(ADE)を20カ所とし、農業サービスセンター(ASC)として拡充の意向。

ニ. 設備概要: 現在4カ所のADEには1カベター、鶏舎はあるが、野菜中心のため、養鶏はカシロールを除いて盛んではない。

(2) 隊員の業務内容: ADEは野菜の種蒔生産が中心であったが、ASC意向に伴って養豚、養鶏、農業機械修理等多角化する方向。養鶏は英国研修を終えたオファー就任により、細々と実務を以て拡充する意向。1人ずつにカシロールADEに隊員がいるが、ダッカ中央で養鶏オファーを補佐し企画、巡回指導にあたる。ニエーカスル、鶏舎、トラ、CRD、ワシシム症等のワクチネーション、定電圧を得られず停電をする場合の3.4卵、自然飼料の2.5卵価との関係、輸送を念頭にケティグの内装、飼料等多岐にわたる。尚且多岐だが、動物性たんぱく質供給、食の改善から、魚と並び供給源としてすぐに解決されなくも、隊員の出来る範囲での協力が求められよう。レター中心でブローラーは時期尚早。一部民間でカチダマリF1が入る。業務形態: ダッカに席を置き企画の他、ジェリール、ポティ、ラジヤル巡回指導。技術範囲: 多岐であり、1人に全ては不可能なので、育雛中心としあとは隊員の特に専門を發揮する意向。

カクダレポート: 養鶏担当は英国研修終了したばかりの30交代。現場はワーカーで知識の多い者は少ない。
機械: 日本製1カベター、ゲージ等はあるが、1カ所だけ、卵輸送バッキン有。
その他: CAREの資金が入っている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

BADCでは養鶏普及に力を入れようとしており、4農場に日本製1カベターが入っている。バ国としても官民共に養鶏に注目している。しかしながら卵価、流通機構、その供給、種鶏、病、鶏舎等肉卵も多く、専門的立場からの助言が求められている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月 日

132 養 鶏

調査者氏名 新田 慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) POULTRY	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 養 鶏	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Natural Resources
(日本語): 農業天然資源省

ロ. 隊員勤務先名称: Mikolongwe Poultry Centre 日本語名称 ()
所在地: ジョージタウン 主要都市からの距離 () キロ

ハ. 事業規模及び内容: 種鶏3,000羽、産卵鶏3,000羽を保有し政府のSMALL HOLDER PROJECTにより、定期的にヒナ(ブラックホスブロップ)を農村部に供給することを期している。前年度は毎週6,000羽産卵の6週命令ヒナがマラウイ産土に供給された。

ニ. 設備概要: 種鶏舎5棟、育雛舎5棟(内3棟はバタリ、2棟は床)、育成舎8棟、インキュベーター3台(24,000卵収容可能)、ローリー3台、トラクター1台。

(2) 隊員の業務内容:

・業務上の地位: Poultry officer (T.O.) センターでは上級者層。

・技術の範囲: 3. 卵技術から産卵鶏に関しての一般的な技術。

・カンファレンス等: ナーブ・ナイターは留学経験も有す。隊員の下には Technical Assistant と呼ばれる5人のスタッフがあり(22~35才) 畜産短期大卒程度の学歴。

・使用言語: 英語、チチワ。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

林一雄隊員の交替

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 専攻学校卒業以上 2. 実務経験4年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 3 月 20 日

132 養 鶏

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Poultry Officer	(男) 1 人	訓練開始 56 年 10 月
	(日本語) 養 鶏	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 57 年 1 月 受入期限 57 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture

(日本語): 農業局

ロ. 隊員勤務先名称: Chinjara Hatchery

日本語名称 (チンジャラ種鶏場)

所在地: P.O. Box 46 Chipata

主要都市からの距離 (ホバより 20キロ)

ハ. 事業規模及び内容: イースタンプロビンスにおける雛の需要をみたすべく、種鶏群より得た種卵をフ化して雛を発送する。同時に地域農民の技術向上を促進する。

ニ. 設備概要: 2千羽収容の鶏舎が2棟 (他2棟建設中)

孵卵機及び停電時発電設備

(2) 隊員の業務内容: 種鶏の一般飼養管理、孵卵器の操作、点燈管理、発電機の定期点検
部品交換、緑餌用畑の管理等種鶏場のマネージメント。

素雛は主都ルサカのP-バーエーカーポルトリ-より仕入れ、それを種鶏群として飼養
現在千羽飼っている。それをフ化させ毎週3千羽の雛を発送してイースタンプロビンス
の需要を満たしている。

最大の問題点は餌であり、79年10月には約千羽の鶏群と産卵開始直後に飼料
の入手困難により売ってしまった事もある。飼料の補給として緑餌を与えてはいるが
トウモロコシ、サツマイモ、ダイズ、オムギ等を栽培して、あてにならない配合飼料にたよ
らなくとも良様にしなければならぬ。その点を考へて、養鶏の知識、経験だけでなく、
耕作に関するそれらも要求される。

主食シマ(マイロを粉をひいたもの)も市場から姿を消す様な国だけに、鶏、ブタ等
の餌は、配合飼料がなくなることを承知の上で行なえる畜産と経営しなければ
ならない。鶏肉はkg当りK2.70(約630円)で売られている。

職場における外国人: なし

使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 隊員はチンジャラ種鶏場の経営にたずさわるので、
半官半民の飼料会社(National Mealings Co.)の問題点や2年ごしに新たに資金の
欠如のため完了しない新鶏舎の建設などの諸問題に関する発言権は少ない。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

①大卒(農学部) ②孵卵器の操作、定期点検ができる事 ③鶏(Layer)の飼養
経験3年以上 ④運転免許(自動二輪免許)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

13105 養 蜂

記入昭和55年9月8日

調査者氏名 表 孝雄 (表)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタ・リカ	(現地公用語) APICULTURA	(男) 1人	訓練開始 56年4月
	(日本語) 養 蜂	(女) 人	派遣予定 56年8月10日
		(どちらでも可) 人	受入期限 一年一月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): UNIVERSIDAD DE COSTA RICA

(日本語): コスタ・リカ大学

ロ. 隊員勤務先名称: CENTRO UNIVERSARIO DEL ATLANTICO (日本語名称)

所在地: トゥリアルバ 主要都市からの距離 首都より67キロ

ハ. 事業規模及び内容: 10コース(学科)から成り、各コース20名~40名の学生が学んでいる。

ニ. 設備概要: 各校としてはますますの校舎 図書館等とじている。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 講師 (INGENIERO)

② 技術の範囲: 高校 (COLEGIO) を卒業した程度の者に2年間のコースで養蜂について講義する他、蜂の管理 女王蜂の飼養についての研究が望まれている。農家への普及活動を行う。

③ 業務の形態: 教室型 - 実習あり

④ カウンター・パート: 大卒の講師 (INGENIERO)

⑤ 現地にある機材: 大まかではあるが実験用器具は揃っている。

⑥ 第三国人: いない。

⑦ 使用する言葉: スペイン語

(詳細は別途資料参照)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 従来教育機関のほとんどがカオセの1区に集中していたが、地方に教育の機会を与え地域開発に貢献すべく同大学(トゥリアルバ)がその一環として設立されたが教育スタッフ不足に直面している。養蜂はかなり遅れており同大学においても養蜂の講師は一名のみ。養蜂を農家の収入源の一つにするに99%輸入に頼っているコスタ・リカの現状に

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと) 銀み赤字減しの一環として

① 4年制の大学卒業者 いる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 日

13105 養 蜂

調査者氏名 ^{在パプア新} 海外駐在員 望月 久

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PARAGUAY	(現地公用語) APICULTURA	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 養 蜂	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年4月迄に現地到着のこと
(1) 配 属 先 Ministerio de Agricultura y Ganaderia (MAG)			
イ. 配属先名称 (現地公用語): Servicio de Extención Agrícola y Ganadera (SEAG)			
(日本語): 農牧省 農牧普及公団			
ロ. 隊員勤務先名称: Agencia de Caacupé		日本語名称 (カクペ普及事務所)	
所在地: Caacupé, Cordillera		主要都市からの距離 (首都より 54 キロ)	
ハ. 事業規模及び内容: 農牧普及公団が統轄する全国約58ヶ所の普及事務所の中でもカクペ普及事務所はコルディエラ県に於ける中央連絡所的機能を果しており、5人の普及員を中心に管内農家に対し一般農業指導、生活改良普及、洋裁指導等の業務を実施している。			
ニ. 設備概要: 普及指導を主要業務とする性格上、機械等は皆無。唯一隊員旅行のみ基本的設備は、応じているが、建物が古く、水が十分ないのが欠点である。			
(2) 隊員の業務内容:			
① 業務上の地位 - 普及指導員			
② 技術の範囲 - 野生蜂の取り方、管理方法、採蜜、女王蜂の改良、ロイヤルゼリー採集までを一貫して初心者へ指導するほか、既存蜂家に対しては各種問題等の相談役を担う。			
③ 業務の形態 - コルディエラ県に於ける小規模養蜂農家と巡回指導し上記「技術の範囲」を指導すると共に、シーズンオフには養蜂に関する簡単なパンフレットを作成したり、又民間ラジオ放送を通じて蜜蜂の生態に関するブランクを行なうことも期待されている。その他、養蜂振興を目的とした短期講習会に於いて参加者への実地指導にも従事するなど幅広い活動が要求される。			
④ 対象者及技術水準 - 一般養蜂農家 (年齢はまちまち) を対象。既存蜂家はある程度の知識・経験を有する。			
⑤ 利用できる機械 - 業務旅行上、国立アスンシオン大学農学部養蜂学研究室と緊密な連絡を維持することが必要であり、果樹作成、蜜源調査、花粉、蜂蜜分析等に関する一切の機械は、同研究室での活用可能。			
⑥ 予備人員の配置 - 同上養蜂学研究室に対する専門家派遣が約10年間継続本年をもってプロジェクトお切りの予定 (現駐在員2名)			
⑦ 使用する言語 - ス페인語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
ここ数年当国の養蜂に対する関心及認識は非常に高まりを見せ、養蜂を志す人々が増加する傾向にある。これは蜂蜜の単価が上昇していること、特に一部地域では土地条件が非常に悪く、他の農業では生計維持が困難であること、養蜂業では亦自ら自立し得る結果が次第に出始めていること等によるものである。小農家の生活向上を政策に掲げる農林省として、更に養蜂の普及を図るべく、今回要請したものである。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
学歴は特に拘われないが、荒いアフリカナイズされた野生蜂と管理し得るだけの実務経験が必要とされる。			
又国立大学養蜂学研究室の器具、器械と利用する観察から、実験及び実験器具に対する基本的知識を有すれば本望。			

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 10 月 日

135 獣 医 師

調査者氏名 松原 雅夫・鈴木 浩夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア 共和国	(現地公用語) Veterinarian (日本語) 獣医師	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 55 年 8~10月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture and Agrarian Reform
(日本語): 農業省

ロ. 隊員勤務先名称: Animal Health Division, State 日本語名称 (国営牧場 獣医部)
所在地: Dairy Station 主要都市からの距離 (首都より 0~500キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1976~80年を5か年計画として国内の各地 50カ所に牧場を開設し、各牧場には平均 1000頭程度の乳牛 (70~80% 乳用種) と多頭飼育の牛を飼育し、その生産物を出荷する。

ニ. 設備概要: 現在 8カ所の国営牧場 (5カ所は隊員を派遣している) があり、平均 1000頭の乳牛を飼育し、ミルク・チーズ・肉類を採取し、販売している。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: 獣医師
- ② 技術の範囲: 乳牛の管理、妊娠鑑定、臨床獣医としての力量の向上。幹部のレベルに達するまで留学(経験者)や研修、これは重要。技術者としての地位を得るための努力が必要。
- ③ 業務の形態: 牧場の獣医の一日のスケジュールに従って、獣医部や指導員の下でルーティン業務に従事する。多頭飼育隊員と協力して仕事をこなす。

④ 対象者、師範の技術水準、年齢: 獣医部の若手獣医と同等のレベルが多い。彼は獣医の経験 (臨床) だけでなく、シリアの「国営」獣医部で 10年ほど大学の獣医学科卒業生として 20年間の研修経験も持っている。

⑤ 現地に利用可能な技術: ほとんどない。

⑥ 現地の業種、日本人または日本人専門家: 乳牛の生産は牧場の元々の業務である。乳牛の生産は 10年ほど前、旧ソ連の専門家から導入された。

⑦ 使用言語: 英語またはアラム語 (口語 = シリア語)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 牧場の乳牛の増加は、具体的な達成目標であり、そのための人材が必要である。(2)~(6)で述べたように、酪農は国産品の生産に重要な役割を果たし、日本人専門家の要請を受けている。最近では、20年ほど前、シリアは JICA 隊員の高い評価や、要請の背景を受けている。酪農飼育隊員は、牧場の運営を積極的に改善するための努力をしている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 獣医師免許。できれば乳牛に関する経験 (経験) も必要。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9月 10日

調査者氏名 奈良輪陸美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Training Officer of Z.I.A.H.	(男) 人	訓練開始 57年4~6月
	(日本語) 獣医師(教官)	(女) 人	派遣予定 57年8~10月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 57年10月に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTRY OF AGRICULTURE AND WATER DEVELOPMENT

イ. 配属先名称 (現地公用語): DEPT. OF VETERINARY & TSETSE CONTROL SERVICES

(日本語): 農業水産省 獣医局

ロ. 隊員勤務先名称: Zambia Institute Animal Health 日本語名称 (ザンビア畜産衛生学校)

所在地: P.O. Box 50 MAZABUKA 主要都市からの距離 (リサバより) 120キロ

ハ. 事業規模及び内容: 1940年に創立。国内の家畜傳染病予防及びザンビア固有のツェツェエ媒蚊を目的とする技術者養成教育機関。国費で運営する厚内は全寮制(学生教育生活費を含む。毎年で5000名が個人に政府から支給される。)

ニ. 設備概要: 約10,000m²の敷地に教育設備(講堂、ラビリム、実験室、動物舎、事務室等)学生寮が存在する。学生収容数は最大限100名

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: Training Officer として学生の教育にあたる。加以外、校長の下に9名の教官(ザンビア7名、デニマーク1名、オランダ人1名)が従事しており、業務上は彼等と同等。

② 技術の範囲: 獣医、畜産に関する一般知識と実技。(Laboratory work, Field work を含む) 助教担任する4つのコース (Veterinary Assistant / Laboratory Assistant / Tsetse control Technician / Tsetse scout)のうち、前記2つのコースを担当し、講義、実習を行う。

③ 業務の形態: 授業は週5日(土日、Public Holidayは休)午前8時から午後4時半まで (Tea Time 30分、昼食90分を除く)。授業は10月~7月まで、8月中旬から9月が期末試験や卒業指導にあたる。新学期は10月で2年制コース (Vet Assist / Lab Assist. / Tsetse. con. ass.) と1年制 (Tsetse. Scout) に分かれ、入学時期: 授業内容が異なる。

④ 対象者の状況: Secondary School を優秀な成績で卒業 (FORM 5) 後、Z.I.A.H. (有資格) を取得した学生のみ、入学が許可される。年齢は18才~25才程度。Z.I.A.H. 終了後、政府畜産機関へ自動的に就職し中央地方の研究施設や診療所に赴任。職域(技術水準)は未だ Assistant であり、各 OFFICE (Veterinary, Livestock, Animal Husbandry) の下で獣医、畜産技術一般の補助に業務にあたる。⑥ 言語: 英語

⑤ 外国人: ウガンダ(校長) デンマーク(教官) 学生の中にウガンダからの留学生もいる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

畜産産業の規模と技術者の Needs と比べ自国に適當な教育機関が普及していない。教育施設人材に於いても同様で、外資援助や外国人雇用の増加から今更には技術者の現状。教員、政府の教育機関として、将来畜産産業の確実な技術者を育てるために、優秀な教官を必要とする。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大卒 (獣医学科) 以上
- ② 実務経験3年以上、特に教授経験 Labo関係従事者も可。
- ③ 英語必須
- ④ 車庫免許

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 8 月 20 日

ザンビア

135 獣 医 師

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
ザンビア	(現地公用語) Veterinary Officer	(男) 1 人	訓練開始 56 年 8 月
	(日本語) 獣医師(大動物)	(女) 人	派遣予定 56 年 10 月
		(どちらでも可) 1 人	受入期限 56 年 1 月迄に現地到着のこと
(1) 配 属 先 <i>Ministry of Agriculture and Water Development</i>			
1. 配属先名称 (現地公用語): <i>Department of Veterinary and Tsetse Control Services</i>			
(日本語): <i>農業及び水資源開発省 獣医及びツェツェ制御事業局</i>			
2. 隊員勤務先名称: <i>Provincial Veterinary Office (交替)</i> (日本語名称 (州) <i>獣医事務所</i>)			
所在地: <i>P.O. Box 16, Chipata</i> 主要都市からの距離 (市内) <input checked="" type="checkbox"/> 田外 <input type="checkbox"/>			
3. 事業規模及び内容: 同局はザンビア全土に 8 箇所のある地方獣医事務所を有し、病理解剖を主として診療、ワクチン接種及び衛生検査等の業務を行っている。一方、州外に新中央研究所が 1979 年に完成し、病理鑑定、組織切片の鏡検、培養、細菌検査等検査を主に行っている。			
4. 設備概要: 1979 年に同局が特別機械供与として家畜衛生検査用顕微鏡 (顕微鏡送心機、顕微鏡、顕微鏡台、顕微鏡架、顕微鏡箱、顕微鏡用顕微鏡台、顕微鏡用顕微鏡台、顕微鏡用顕微鏡台) を贈与され、各地に獣医事務所にも設置されている。その他、一定の設備はあるが、機器については修理の必要あり。薬品類 (ワクチン、注射液、消毒液) が不足している。実験室はあるが充分とは言い難い。			
(2) 隊員の業務内容:			
① 隊員の業務上の地位: 獣医師として <i>Provincial Veterinary Officer</i> の職階下にある。			
② 技術の範囲: 家畜の診療 (農場への往診、診療所での小動物の診療を含む)、病理解剖 (大動物)、ワクチン接種、衛生検査、血液検査、牛の乳房鏡検、事務所業務 (局長への英文報告書作成)。家畜は主として肉牛、山羊、豚、鶏等が対象となる。			
③ 業務の形態: 農場、農場への往診業務、同事務所実験室での解剖検査等の業務、及び事務所業務。			
④ 対象者及びその月一平均の技術水準、学歴及び年齢: 獣医学は当国にはないが、家畜飼育士、獣医補助等のための養成学校卒業者が対象と取りうる。			
⑤ 現地に利用できる機械: 上記寄贈機械の他、一定整っている。大動物用解剖機械等一式を携務して行く。産科用係数器、薬品 (大動物用鎮静剤) も当座の分携務の要。			
⑥ 職場に於ける外国人及び日本専門家の配置状況: <i>Provincial Veterinary Officer</i> ... 3 人、1 人は			
⑦ 使用する言語: 英語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
外国人コソワリヤー (特にヨーロッパ系) の帰国に伴う切り替わりの業務として 1978 年より継続して派遣している。ザンビア人獣医師 6 名 (獣医局長を含む管理職に於けるものはほとんど現地の業務はなし) 外人コソワリヤー約 20 名がおり、獣医大学の無い現在、コソワリヤー又はボクソン行に頼っている。ザンビア人獣医師の不足と家畜の病気が多いこと、事務局からの特別機械供与前任隊員の業績が高く評価され、期待は大きい。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
○ <i>大卒 獣医師免許必須</i> 。○ <i>大動物に関する知識及び診療経験 3 年以上</i> 。○ <i>外人コソワリヤーが多少あっても、毎月英文レポートの撰取が必要であること</i> 。○ <i>英語力 (専門用語含む) が要求されている</i> 。○ <i>地元へ帰国する意向がないこと</i> 。○ <i>当然のことながら、強い忍耐力と定着性が要求される</i> 。○ <i>単身及び普通免許取得のこと</i> 。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

145 獣 医 師

記入昭和 56 年 5 月 23 日

調査者氏名 葛根 史男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
セネガル	(現地公用語) (Docteur) Vétérinaire	(男) 2 人	訓練開始 56 年 10 月
	(日本語) 獣 医 (臨床)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 57 年 2 月 受入期限 57 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): *Secrétaire d'Etat à la Promotion Humaine*
(日本語): 地工成住民成成庁 *Ministère Agricole*
- ロ. 隊員勤務先名称: *Centre de Formation et de projet* 日本語名称 (農業専門家養成研修所)
所在地: *Biguana* 主要都市からの距離 (より 27 キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: *Ziguinchor*
地元に配属した農業技術指導員への研修、通訳、モデル農家農家の実務的研修等を行う。
- ニ. 設備概要: 教室、宿舎、ワーク・ショップ、家畜小屋、研修農場、各国実習の農家数

(2) 隊員の業務内容:

- 1. 隊員の業務上の地位: 上記研修所における獣医学の指導員
- 2. 技術の範囲: 家畜(牛、豚、山羊、羊、鶏、etc)の病気の予防に詳しい(「ハスト、ハスツールロ、炭疽病、botu lisme, trypanosome etc」)
- 3. 業務の形態: 教室において獣医学を研修生(農民、指導員)に教えること。研修所内家畜下保の実務を行う。家畜飼育の知識も必要。
- 4. 対象者: 農村内各層の出身者からの農業技術指導員は、農業界内の教育を行う者達。実務に詳しい。農民は、経験上の知識も持っている。カウリー・レポートでは、同僚セネガル人指導員が6~7人勤務している。
- 5. 研修生: 設立は ILO (国連) による資金調達あり、国内家畜に置き換えは、project として行われ、現在中国には、いくつかは中国技術協会の(農村内)の基地がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

セネガルの家庭には (多くは農村部) 必ず家畜を飼育している。
Transhumant (避暑放牧) もあり、家畜の移動も多々ある。政府は、農村政策として、政府指導員は、予防接種等、研修を受けたい。対応可能な家畜技術者の育成も急がれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○獣医学資格 フランス語 理論、実務を教えることができること

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 5月 23日

145 獣 医 師

調査者氏名 **茅根史男**

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
セネガル	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 56年 10月
	Docteur Veterinaire	(女) 人	派遣予定 57年 2月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 57年4月迄に現地到着のこと
	獣医(臨床)		

(1) 配属先 Secretariat Executif des CER

1. 配属先名称 (現地公用語): *Secretariat d'Etat à la Promotion Humaine*
 (日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: *Assistant Régional des CER* 日本語名称 (セネガル-オリエンタル CER 事務長)

所在地: *Tambacounda* 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: *州事務所は下には3県事務所 12ヶ所 CERがある。*

ニ. 設備概要: *州事務所長と運転手等の2人等が、各 CER には 5~6人 農業・家畜飼育・家政・森林・林産物等の業務をこなす。*

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: *セネガル-オリエンタル CER 事務所長への補佐に相当する。*

2. 林産物の範囲: *家禽(鶏・山羊・羊等)の病気、防疫に詳しいこと。ノスト、ノスツルロセ、炭疽病、betu lisme*

3. 業務上の形態: *CER 事務所長への補佐として、12ヶ所の CER の林産物者と連絡を取り、P.D.E.S.O. (Projet Developement Elevage au SENEGAL ORIENTAL) OFADEL (Office Agricole Developement Economique) の各プロジェクトに対して林産物的な活動をこなす。*

4. 外国人の配置: *PDES0 には 1人以内、OFADEL には 75人以内*

5. 言葉: *フランス語(公用) ウォロフ語。*

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: *フランス語・ウォロフ語を話せること*

フランス語、ウォロフ語を話せること、家畜飼育の経験があり、その上には家畜防疫のプロジェクトがある。家畜の病気を防ぐためのワクチンは10%以下(これは家畜の林産物) 費用がかかるため...

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

獣医(臨床) フランス語

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

145 獣 医 師

記入昭和 56 年 4 月 日

調査者氏名 在パラグアイ国
海外駐在員 望月 久 145

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PARAGUAY	(現地公用語) VETERINARIO	(男) 1 人	訓練開始 56 年 10 月
	(日本語) 獣医	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Universidad Nacional de Asuncion

イ. 配属先名称 (現地公用語): Facultad de Ciencias Veterinarias
(日本語): 国立アスンシオン大学 獣医学部

ロ. 隊員勤務先名称: Dept. de Reproducción Animal 日本語名称 (家畜繁殖学科))
所在地: San Lorenzo 主要都市からの距離 (約より 11 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 牧畜業の盛んな当国に於いて、基礎研究 普及活動の大元給め的存在であり、今後 獣医病院の建設と計画する等活動は意欲的である。

ニ. 設備概要: 過去に派遣された専門家の旅行機材 且、昭和 54 年度実施された JICA 単独機材供与 (約 300 万円) 等により、大方必要を賚っている。

- (2) 隊員の業務内容:
- ① 業務上の地位 - 獣医 (アシスタントインストラクター)
 - ② 技術の範囲 } - パラグアイ人スタッフ 及び 日本側 専門家と共同して 学科の運営に当たるが 隊員の場合
 - ③ 業務の形態 } 特に実技指導の面で 機動性を発揮することが望まれる。
又 獣医学と 農牧省とは 不即不離の 関係にあり 現地人スタッフの場合 両者兼務が殆んど
という実情にもある為 必要に依り 農牧省人工授精センター (所長は日豪二世 Dr. OKA) 及び
牧場で 人工授精を実施するなど 幅広く活動する必要があると 期待もされては
 - ④ 技術水準 - スタッフの殆んどは JICA 研修員として 日本滞在の経験があり 技術面で 多少見劣りせむが
計画性、指導力に於いて 弱いとは至らぬ。尚、和が方 専門家 JOCV の要請へと
続けられているものである。
 - ⑤ 利用する機材 - 応接している
 - ⑥ おお国人等の配置 - 日本人専門家 2 名 (帯広畜産大)
 - ⑦ 使用する言語 - スパイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

国立大学への和が方協力は 農学部に対する「養蜂」、獣医学部に対する「家畜人工授精」の分野で、それぞれ 専門家を介して 約 10 年の歴史を有しており 特に 獣医学部側の 熱意もあり、今後 JOCV の機動性が評価され 本件要請機材にもつて、専門家との タイプアップをいつ 効果的 協力態勢を構築する意味でも 活動に対する 期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 家畜人工授精師 実務経験 3 年以上あればなお望ましい

青年海外協力隊派遣受入希望調査表



記入昭和 55 年 9 月 10 日

14002 漁業組合

調査者氏名 飯野 岡り雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ホンデュラス	(現地公用語) Organización y Administración de la Cooperativa pesquera	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 漁業協同組合指導	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 55 年 9 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Dirección de Fomento Cooperativo
(日本語): 協同組合助成局

ロ. 隊員勤務先名称: 日本語名称 ()
所在地: Tela 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 助成局の仕事は、各漁村に漁協をつくり、水産物の増加をはかると共に漁民の貧困からの脱出を目ざしている。従って組合精神の啓発、経営知識の普及が主な仕事。現地人普及員が4名いるが、水産経営に関する知識を有する者は少ない。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: 各漁協とも事務専門の職員が少く、経営管理は役員(組合長、書記、会計)が行っている為、経営は手廻りである。隊員の仕事は彼等に基本的な水産簿記を教える事から始まる。役員はすべて漁民から成っているが、小学校しかでておらず、計算が苦手の者が多く根気強く教える必要がある。絶対的な漁獲量の少ないことから経営がうまくまわっている組合が多く、その中でいかに組合経営を存続させていくかを考えなければならない。現在は各組合供、カヌー2-3艘に府刺網を3-4反に2小規模の自営漁業事業を営んでおるか、修繕後は、組合が販売事業を営むようになる可能性がある。従って各種販売事業を行う際の基本的な帳簿組織の知識を十分に身につけている事が大切。現段階では、漁民は複雑な帳簿は記入していない。単式簿記(現金出納帳程度)、漁獲日計、集計表、残高試算表、損益計算書、貸借対照表、程度の知識の普及をはかる事は必要。又12月には決算をする必要がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国には現在1980年完成を目標とした、FAO及びBIDによる漁業振興プロジェクトがある。目的は広く国民に水産物を供給する事である。その為、漁協を育成し、水産物の供給の役割を果たすべくしている。従って組合の経営管理は非常に重要なものとなり、漁協指導隊員への期待は特に大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
全国漁業協同組合学校卒業者で、漁協での実務経験が2年以上の者を希望する。又水産学部 水産経済学を卒業した者でもよいが、漁協での実務経験が必要。
・四輪免許

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 56 年 9 月 17 日

100 水産物加工

調査者氏名 藤巻 洋

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 57年 4月
	Fish Processing	(女) 人	派遣予定 57年 8月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	水産物加工		

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Fisheries (日本語): 漁業省	
2. 隊員勤務先名称: Institute of Fish Technology 所在地: クローアヒラント, コロンボ	日本語名称 (漁業技術研究所) 主要都市からの距離 (より キロ)
3. 事業規模及び内容: ① 現在利用されていない漁の利用法の確立 ② 湖沼を利用した淡水漁の養殖, ③ 海水漁の養殖 ④ 流通機構の確立	
4. 設備概要: 漁獲物の保存, 水産加工についての設備は一通り揃っている	

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位	水産物加工に関する技師
2. 技術の範囲	① 当国における漁獲物は鮮魚又は干物として販売されているが、それらに向かひ、漁は年間の約5万ト海にすぎない。 現在利用されていない漁とソーセージ, カマボコ, ハースト等に加えて販売することを試験的に実施されている。加工技術確立のため、隊員には特に肉類製法の経験者を選んでいる。
3. 業務の形態	
4. カウンターパート	
5. 研修	現在研究所には約50人のスタッフがありそのうち製造加工分野では約10名が大卒(生物学科)であり、専門的知識は受けているが、on the job trainingで水産加工の知識を身につけていく年齢22~30才。試験的に製造できる範囲で研修及び化学薬品が揃っている。この大卒はFAOの援助によるものである。
6. 母国語	FAO 専門家として江藤誠一氏が勤務中である。
7. 使用する言語	英語, シンハラ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

限られた水産資源の有効利用及び国民の蛋白質摂取の両面から水産物加工の試験、研究が行われているが、当国には水産学部と府立大学は存在しないため、専門的知識、技能を有する人は少なく、隊員の要請は高いためである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大卒(水産製造学科), 経験 1年以上, 又は大学で十分に実験実習を終えている人

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9 月 14 日

調査者氏名 河原 功

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ホンデュラス	(現地公用語) Procesamiento y Mantenimiento de Pescado	(男) / 人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) 水産物加工	(女) 人	派遣予定 57年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年 9月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Direccion Gral. de Recursos Naturales Renovables*
(日本語): 天然資源省 更生総局

2. 隊員勤務先名称: *Laboratorio de Procesamiento de Pescado* (日本語名称 (水産物加工実験所(仮称))
所在地: *La Ceiba* 主要都市からの距離 (セバより 2キロ)

3. 事業規模及び内容: 水産物加工実験所は、現在、建設中であり、今のところ、同敷地内の海洋生物研究所にて、協力活動を行っている。

4. 設備概要: 別紙参照

(2) 隊員の業務内容: ホンデュラス国に適する魚類の加工法を求め、それを紹介してゆく事を通じて、同国の漁業の発達を助ける事を任務とする。現在、*Albóndiga de Pescado* (魚肉の揚げボールの意) をホンデュラス国の人々に試食会及び試験販売を通じて紹介中である。水産物加工を一つの産業として育ててゆきたいと考えている。

1. ボランティアの技術者

2. 魚肉ねり製品及びその他水産加工の技術、保存、流通の知識

3. カウンターパートは、現在申請中だが、まだ付いていない。よって、実験及び試験販売まで一人でやっている。

4. 魚肉ねり機、肉挽機、冷凍庫、冷蔵庫、ガス台、etc.

5. 海洋生物研究所を基地として、日本人水産専門家3名勤務中。

6. スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ホンデュラスの国民は、まだ魚を食べる習慣が少い。それは、流通の未発達と魚の食べ方を知らない為と思われる。ホ国の漁業関係首脳部はこの国の将来を考えると魚を有効に利用する必要性を強く感じており、よって、日本の水産物加工及び、その他の技術に期待する所が多い。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○普通車運転免許、大学卒業程度 (食品に関する学科)

実務経験 1~2年程度 (魚肉ねり製品関係)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年6月15日

173 生態調査

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガンビア	(現地公用語) Vegetation & Ecological Research	(男) 人	訓練開始 56年10or12月
	(日本語) 動植物生態調査官	(女) 人	派遣予定 57年2or4月
		(どちらでも可) 2人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Land and Natural Resources
(日本語): 土地資源省

ロ. 隊員勤務先名称: Department of National Parks Wildlife Services 日本語名称 (自然動物公園局)
所在地: Private Bag 1 Chilanga 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 土地資源省の管轄する自然動物公園は全国で18ヶ所あり、動物保護の目的から全く人間が居住しない地域、狩猟可能な地域(全国に32ヶ所)及び動物人間が共生している地域に分かれる。Chief Wildlife Research Officer (野性動物調査長)のもとに8名の生態調査官(現在1名しかいない)と、各地に150名の動物監視員がおり、現在生態調査官になるため米国に8名、豪州に2名が留学中である。内容としては動物の保護、自然の調和及び動物公園の経営計画について調査・研究している。

ニ. 設備概要: 各自然動物公園内(ルンカ、カフエ、ロキド、ムンガ)には事務所、宿泊設備、電気(一部自家発電)、水道、一部には空港が完備している。また事務所機器としては、顕微鏡、フィルム、薬品等が備えられている。

(2) 隊員の業務内容: 隊員は2年間自然公園の中にキャンプを設け常駐し、動物の生態調査及び植物の分布(食料としての)との調和について調査・研究し報告する。1969-1973年にわたってFAOからの専門家が調査して以来調査・研究は行なわれていない。

- ① 隊員の業務上の地位: 生態調査官(Wildlife Biologist) 特別な身分証明書が発行される。
- ② 技術の範囲: 自然動物公園中での生態調査及び研究活動ができること。
- ③ 業務の形態: 調査・研究方法については本省も確立したものが無いので隊員の努力にかかっている。
- ④ カウンターパート: 各公園にいる動物監視員がつく。10名の留学生が帰国すればカウンターパートとなり得る。特に優秀な監視員の再教育も含まれている。
- ⑤ 機材: 一応揃っているが古いため赴任の際、必要な機材はあらたに携行する必要がある。(調査者所見参照)。
- ⑥ 外国ボランティア: なし

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在18ヶ所の自然動物公園(面積 59,400 Km²)があるにもかかわらず、1名しか正式な生態調査官はいなく、しかも1973年以来、動物の生態は全くわかっていない。又この国も観光及び減価ゆく動物保護に力を入れているため、その意味で非常に大きな期待が寄せられている。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 大卒(できれば修士) ② 身長 25才以上 ③ 自動車運転免許、単車運転免許
 - 4. 顕微鏡の取扱い経験があれば望ましい 5. 頑健にして自らの健康管理ができる精神力の強い者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 4月 16日

170 漁具漁法

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可)	人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先			
イ. 配属先名称 (現地公用語): <i>United Small Fishermen and Farmers</i>			
(日本語): <i>Association of the Philippines, Inc.</i>			
ロ. 隊員勤務先名称: <i>小規模農漁民協同組合</i> 日本語名称 ()			
所在地: <i>Malita, Davao del Sur</i> 主要都市からの距離 (km) 約 100km			
ハ. 事業規模及び内容:			
組合員約 50 人の 5-15PH の船外機 カヌーで漁業を行う。			
今後の組合として 15 名前後の漁網船の導入を予定している。			
ニ. 設備概要:			
組合員 14 名の船は 5~15PH のバノーと呼ばれる隻船			
(2) 隊員の業務内容:			
隊員の業務上の地位: 組合所属の技術者			
技術の範囲: Tuna, Mackerel, skipjack, mayamaya, Squid の魚獲技術			
業務の形態: 組合員に対する技術指導 Davao del Sur 州の Region - XI の全州を対象とした漁法指導			
対象者及びカウンターパートの技術水準 年令: 漁民を対象とした漁具漁法の指導 カウンターパートは Mr. Rustico Z. Taganeta, 地裁官			
現地に利用可能な機械: 漁船 漁網			
取組に於ける日本人及び日本専任家の配置状況: なし			
使用する言語: 英語, ビサヤ語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規			
以前、日本人専任家により、漁具類を調査し、その結果上記の要請が有望との結論に至り、従来の漁具漁法での漁獲量を増やす、先進国である我が国に於て、その技術指導を要請越して頂くが、就中隊員の現地での活動が、高く評価され、今回の要請と成ったのである。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
高校卒業程度が良、() 経験 3 年以上、() 当該分野に於ける			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年8月9日

170 漁具漁法

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語) Fishing Gear and Method	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 漁具漁法	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限57年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (BFAR)

(日本語): 水産資源局

ロ. 隊員勤務先名称: BFAR Region I 日本語名称 (同上)

所在地: Dagupan City Pangasinan 主要都市からの距離 (マニラより220キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 水産資源局は Central office, 12の地方局, 78の支局及び試験場から成り自治体を管轄される水面以外の水域における資源の管理保護, 開発, 利用及び処理等の管轄業務にあたる。

ニ. 設備概要: 漁具漁法隊員が使用可能な設備はなし。

(2) 隊員の業務内容: 北西部ルソン帯をカバーするリージョンIのうち4プロビンス

(イコス, ルテ, イコススール, ラウニオン, パンガシアン)には現在隊員が各々一名ずつ配属され活動している。現在この海域を把握するためのデータ類が殆んどなく、等しく調査の必要性が求められている。またそれと平衡して、漁具等のデモンストレーションも考えられる。漁師の殆んどは8~16馬力のエンジン付バンカモ利用して刺網, ベビートロールネット, 手釣等を行っている。

① 隊員の業務上の地位: 漁業普及員

② 技術の範囲: 海洋観測及び各種漁具漁法の理論的且つ実践に於ける基礎的知識が要求される。

③ 業務の形態: 広範な漁業普及活動及び北西部ルソン海域の総合的な漁業実態調査推進する上において、現地点では各州一名ずつ配属され、それ以外に連絡をとりつつ現地スタッフと共に業務遂行することが望ましい。

④ 対象者 漁民

⑤ 現地を利用する機材 なし

⑥ 邦国人等 …… アメリカ平和部隊 若干名

⑦ 使用する言語 …… 英語, パンガシアン語, タガログ語, ホリタオ語, 他カノ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 交替隊員の要請

(北) 臨時男隊員 (54/2) の

漁業調査及び普及活動の継続推進。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産系大学卒で経験を有する者が望ましい。唯し水産高校卒業で十分な実務経験 (実務) 及び語学力を有する者であれば可。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年 2月 9日

170 漁具漁法

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
フィリピン共和国	(現地公用語) Fishing Gear and Method (日本語) 漁具漁法	(男) 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始	年 月
			派遣予定	年 月
			受入期限5年8月迄に現地到着のこと	

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (BFAR)
(日本語): 水産資源局

ロ. 隊員勤務先名称: BFAR, Region I 日本語名称 (同上)
所在地: Dagupan City, Pangasinan 主要都市からの距離 (マニラより220キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 水産資源局は Central Office, 12の地方局, 78の支局及び試験場からなり, 自給体で管轄される水面以外の水域における資源の管理, 保護, 開発, 利用及び処理等の管轄業務にあたる。

ニ. 設備概要: 漁具漁法隊員が使用可能な設備はない。

(2) 隊員の業務内容: 北西部ルソンネー帯をカバーするリージョンIのうち4つのプロビンス

(イロロス、イロロス、ラウニオン、パンガシアン)には現在海を持つ隊員が各々一名ずつ配属され活動している。

主な隊員業務としては 漁業実態調査, 漁業デモンストレーション, 水産教育等が行われており, フィールドワーク主体である。漁・海況調査データ収集に基づいた上での総合的な漁村への普及活動が望まれる。

① 隊員の業務上の地位... 漁業普及員

② 技術の範囲... 海洋観測および各種漁具漁法の理論かつ実践における基礎的な知識を要する。場合によっては前任隊員の引継ぎ事項として鮪延縄のデモンストレーションが含まれるかもしれない。

③ 業務の形態... 広範な漁業普及活動及び北西部ルソンネー海域の総合的な漁業実態調査を推進するに於いて現時点では各州に一名ずつ配属され、それぞれが分連絡をとり合っており、現地スタッフと共に業務遂行する。

④ 対象者... 漁民

⑤ 現地に利用する機材... 特に無し

⑥ 第三国人等... アメリカ平和部隊 数名

⑦ 使用する言語... 英語, 他カ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 任期満了に伴う交替隊員の要請

(新里 稔一隊員(5/2)の漁業調査及び普及活動の継続推進。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産大学卒の実務経験を有する者が望ましい。ただし水産高校卒の者も十分な実務経験および語学力かとも可。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年3月30日

181 漁具漁法

調査者氏名

倉持 繁 (印)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
3119	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 55年10月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 56年2月
	(日本語)	人	受入期限 56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): المؤسسة العامة للأسماك فرع الصيد البحري بالادارة
 (日本語): 農業農地改革省 水産公団 ラタキア支所

ロ. 隊員勤務先名称: 水産公団 ラタキア支所 日本語名称 ()
 所在地: ラタキア市内 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 水産公団 唯一の海面漁業支所であり 船: 漁船 3隻
 が運用されている。

ニ. 設備概要: 船: 漁船 (360HP 底曳網・延縄兼用船) 3隻
 20HP 小型船 6隻

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位:
 支所に配属される必要とされる際は乗船する。
 陸上では支所スタッフ 海上では船長待遇とする。

技術上の範囲:
 日本における同規模漁船 100~250トンの漁船の船長と
 同業務に必要とする技術が必要とされる。
 具体的には トロール漁法、延縄漁法、底曳網漁法等の知識、技術、
 及び 船務管理、運用管理、海上法規等に関する知識、
 又 底曳網・延縄・延縄漁法 (小型漁船による) に関する知識。
 必要

使用する言語:
 乗船時はアラビア語
 支所においては英語の使用可能。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:
 3119国において又当水産公団において漁業に関し豊富な経験、技術
 を有する者がいないため当隊員の派遣は必要とされている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
 ○ 水産高校 漁業科 専攻科卒 又は 乗船経験5年以上
 ○ 水産大学 " " " 乗船経験3年以上
 ○ 漁具漁法 の 経験者 (中程度 乗船経験以上) は絶対条件

○ 半年間の技術研修 及び 1981年の8月~10月派遣

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

181 漁具 漁法

記入昭和 56年 5月 28日

調査者氏名 吉田 和訓

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
セネガル	(現地公用語) <u>Appareaux et Methodes (de Pêche)</u>	(男) 1人	訓練開始 56年 10月
	(日本語) 漁具・漁法	(女) 人	派遣予定 57年 2月
		(どちらでも可) 1人	受入期限 57年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): C.E.R. à Toubakouta (Promotion Humaine)

(日本語): ~~農村南米省~~ 地域住民育成庁 農村近代化センター

2. 隊員勤務先名称: C.E.R. à Toubakouta 日本語名称 (農村南米省)

所在地: Toubakouta (Region de Sine-Saloum) 主要都市からの距離 (60km 約 65km)

3. 事業規模及び内容: C.E.R. の出張所 各都市、各町、各村にあり 事務

所は所長、専門職員(水産、農業、畜産 etc) 数人にて 構成され 各種の巡回指導、相談にあり、プロジェクトも実行している

4. 設備概要: 事務所及び職員住宅、車及び多少の機材

(2) 隊員の業務内容: 隊員は Toubakouta に住み Post de controle

(Direction de Pêche) 職員と連絡を取り 地域にお
いて漁獲拡大を目的とする

① 業務上の地位 C.E.R. 巡回指導員

② 業務上の範囲 漁法は 巻網(小型のもの) 地域網
投網 が使用されている 地理的に
内海にあり 静かであるが 島嶼
にある海域で 刺網、罟具などの巻網

③ 業務形態 カーに船外機を付け 島嶼にある漁村や他の
漁村の巡回指導となる

④ 対象者 漁民(1-6月期)
かつ-11才 特にはいはいが 水産局職員の援助、
協力は期待できる

⑤ 外国人 いはい

⑥ 言語 仏語、2-3の現地語(ワロフ、他)

⑦ 機材 Yamaha 8CV 型 船外機

(補) 船外機の修理が できるか 不明

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

Toubakouta の守備範囲の中心は Missiak 村である。これは National park
であり 漁村も島上に存在している。巡回して 漁具及び漁法の
デモンストレーション、指導及び新技術の導入を期待している

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

漁具・漁法について 博識で、罟や定置網、刺網の工夫が
あること

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

181 漁具 漁法

記入昭和 56年 9月 11日

調査者氏名 木村 彰二

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ホンデュラス共和国	(現地公用語) Arte de Pesca	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 漁具 漁法	(女) 人	派遣予定 57年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Dirección General de Recursos Naturales*
 (日本語): 天然資源省更生局

ロ. 隊員勤務先名称: *Barco de Investigación y Experimentación* (日本語名称 (試験調査船))
 所在地: *Puerto Cortés* 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 日本政府より贈与された5t型FRP船において、
 本国沿岸水域 (北海洋、カリブ海) の資源、海洋調査及び漁具
 の普及、改良

ニ. 設備概要: 漁業試験調査船、海洋観測器類、漁具 (トロール
 網、刺網、近縄等)

(2) 隊員の業務内容:

調査船 (RENARE II) において漁業隊員としてのホンデュラス共和国の沿岸
 の各水域を一定期間海洋調査、操業試験、漁具の改良普及
 漁民への指導を行う。

・隊員の業務上の地位: 水産技師

・技術の範囲: 各種漁具漁法に精通していること、特にトロール
 網、近縄、定置網、海洋調査器類も使っていること

・業務の形態: 一日の半分以上は海上にて試験操業、調査
 海に出る時にも陸にて漁具の修理作業も行うこと

・対象者及びターゲット: ターゲットは特になし。一般漁民: 刺網、手釣り、小
 型地曳等知識あり

・現地で利用すべき機材: 船カ筏より送られる各種漁具

・専門家: La Ceibaにて日本人専門家3人、試験操業中
 伊リス人、スペイン人、チリ人等専門家

・使用言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

水産資源に関する各種の資料がほとんど無いため、国でこれから伸び行く
 ところの水産の基礎調査資料を作る。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産大学にて漁業一般を学んで来て各種漁業知識、経験も有る者
 小型船舶の操船できる者 (免許なくても良い)、普通自動車免許
 体力に自信があり健康な者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

182 養

殖

記入昭和 56年 9月 2日

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Aquaculture	(男) 1人	訓練開始 1982年 6月
	(日本語) 養殖(カキ)	(女) 人	派遣予定 1982年 10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (BFAR)
(日本語): 水産資源局

ロ. 隊員勤務先名称: BFAR Extension Division Region (日本語名称 (同上))
所在地: Dagupan City Pangasinan 主要都市からの距離 (マニラより220キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 水産資源局は Central Office 12の地方局, 70の支局及び試験場からなり自治体で管轄する水面以外の水域における資源の管理保護開発利用及び処理等の管轄業務にあたる。

ニ. 設備概要: リージョン内には7つの BFAR Oyster farm (パンカシオン5, ランオン1, 他2カ所) がありそれぞれ数人の職員が半式か養殖にたずねているがその技術は民間のみに留まり

(2) 隊員の業務内容: 研究設備等協定ない。

隊員は BFAR リージナル オフィス (Extension Division) に配属されリージョン内総じての Oyster Farm が対象となるが、まずは パンカシオン州 西部にある 4つの Oyster Farm (Bani Oyster Farm and Mussel Farm, Tambac bay Oyster Farm, Cagupitan Oyster Farm, Anda Shell Fish Farm) が活動の場になる。

効率的なカキ養殖法の導入及び初生産における質的向上が期待されている。また最近 Anda shell fish farm 付近で真珠貝養殖の可能性が考えられよう。そのための調査等も業務に入る。

- ① 隊員の業務上の地位、水産増養殖普及員
- ② 技術の範囲 カキ養殖に 関係する理論的・実地的知識、真珠養殖に 関係する基礎的知識
- ③ 業務の形態 リージナル オフィスを活動の拠点とし、リージョン内の Oyster Farm (BFAR 所有、Private Sector 両方) に対する効率的なカキ養殖法の導入及び真珠貝 などの他貝類の増養殖 に関する技術向上および広報調査活動を行う
- ④ 対象者 Oyster Farm Manager 漁民
- ⑤ 現地で使用する機材 隊員が自由に

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 使用する機材はない。⑥ 使用する言語 英語、他カガ語、パンカシオン語

新規要請。直接の要請者である リージナル ディレクター と現場スタッフ とで 隊員活動力に対する認識、期待の度合いに 喰い違いが見られるのが現状である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産系大学 (増養殖コース) 卒経験が1年以上あるものが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 16 日

171 養 殖

調査者氏名 新保 昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	Fish Culture	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	養殖(海水)		

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *United Small Fisherman and Farmers*
 (日本語): *Association of the Philippines, Inc.*

ロ. 隊員勤務先名称: 小規模農漁民協同組合 (日本語名称:)
 所在地: *Malita Pavao del Sur* (主要都市からの距離 91kmより 100km)

ハ. 事業規模及び内容:

約 600 ha, 養殖不能の池があり、これを利用して
Prawns, Bangus, Tilapia, eels 等の養殖をしようとする。

ニ. 設備概要:

養殖不能の養魚池のみ

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位: 組合所属の技術者
 技術の範囲: *Prawns, Bangus, Tilapia, eels* 等の養殖技術が
 あり、不慣れな養殖に必要
 業務の形態: 組合員に対する指導

対象者及びそのレベル: 組合員及びその家族
 Project Manager の *M. Rustico E. Tagarda* の
 必要に応じてそのレベルを配置する予定、*Bangus*
Tilapia 等の養殖技術はあり。

現地: 利用可能な機械; 養殖池

取組: 約 3 年 3 國人及び日本国内家の配置状況; 等

使用可能な言語: 英語、ヒサヤ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規

フィリピン各地には約 170 万 ha の *Bangus, Tilapia* 等の養殖が盛んに行われて
 いるが、この *Pavao del Sur* には *Fish Pond* 可能な場所が多く、この
 養殖は各方面から期待されている。特にこの分野では先進的技術を現
 地に同じ社に就中、協同組合の要請があること、その期待は高い。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産学大学院程度があり、当該分野での経験があることが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 10月 2日

171 養 殖

調査者氏名 新保 昭三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Fish culture	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
養殖(淡水)			

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Southern Philippines Development Administration
 (日本語): 南部フィリピン開発機構

ロ. 隊員勤務先名称: Lake Buluan Development Project 日本語名称 (グループ): 湖南開発プロジェクト
 所在地: Buluan Maguindanao 主要都市からの距離 (91kmより60キロ)

ハ. 事業規模及び内容:
 グループ: 湖の約 5800ha あり 内陸沼澤と 17 地域住居に 対し、淡水魚 (コイが中心 20~25kg/日) を供給 して いる。

ニ. 設備概要:
 現在、水道管の 2/3 の施設が 完了 している。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: 南部フィリピン開発機構に 対して した Adviser
- ② 技術の範囲: 淡水魚 (コイ、カラシロ) に 対して 養殖技術の 普及 すること。
- ③ 業務の形態: 技術者 として 技術指導と 研究
- ④ 対象者、及び 村長、リーダー、パートの 技術水準、工場 及び 命令:
 漁業局 から 派遣 された 技術者 (固定的な 関係) が あり、水産関係の 大学 卒業 した 技術者 (養殖) に 関して 知識、技術が 低い。
- ⑤ 現地に 利用 出来た 設備:
 本 project の 発足 して 2 日 経たず、利用 出来た 設備は 殆ど ない。
- ⑥ 使用 した 現語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

四面海に 囲まれている フィリピン には 豊富な 水産資源が あり、
 最近 養殖 技術の 普及 に関心が 高まっている。既に バコス (淡水魚) の 養殖 技術 普及 に出向く 養殖 技術者 が増えている。グループ: 湖と 内陸沼澤と 17 地域 住居に 対して 淡水資源の 確保 施設が 必要 である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

卒業 経験 2 年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

182 養 殖

記入昭和 56 年 9 月 24 日

調査者氏名 八塚 明彦 (印)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Seaweed Culture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) ノリ養殖	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources
(日本語): 水産資源局

2. 隊員勤務先名称: B.F.A.R. District Fishery Office 日本語名称 (水産資源局 地方支所)
所在地: Laoag City, Ilocos Norte 主要都市からの距離 (マニラより約40キロ)

3. 事業規模及び内容:

ノリ養殖は、1968年よりイロコス・ノルテ水産資源局の事業の1つに行われている。しかし、いまだ成功を見ることができていない。

2. 設備概要: マニラ市の北約45kmの所にあるブルゴス町に水産局の Marine Station があり、ノリ養殖事業にあてられている。

(2) 隊員の業務内容:

水産資源局と NEDA (National Economic Development Authority) の要請により、1981年8月に JICA のノリ養殖専門家が来比し、1年間の任期でイロコス・ノルテ水産資源局のノリ養殖事業に携わることになった。

JICA 専門家の計画では、専門家の任期中に、ノリ養殖用の 糸状体施設による 種苗生産を確立させることになっている。

ノリ養殖隊員の業務は、JICA 専門家が現在おこなっている仕事と関連した事を行おうことになっている。

1. 隊員の業務上の地位;

2. 技術の範囲; ノリの養殖、海藻の生態調査

3. 業務の形態;

4. カウンターパート; JICA 専門家の着任に伴って、新しく配属された。男、フィリピン 大学水産学専攻、22才。現在は臨時職員だが、近いうちに正職員に昇格予定。

5. 利用できる機材; 水産局にはなし。JICA 専門家の携行機材を使用することになる。

6. 専門家の配置状況; JICA ノリ養殖専門家が 1981年8月より1年間の任期で派遣されている。

7. 使用言語; 英語 (書類はすべて英語で書かれる。) / ロカノ語 (人々が話している言葉。)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規要請

水産資源局の上部や JICA 専門家を要請して NEDA のノリ養殖に対する期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産系大学増殖学科卒 JICA 漁家で 実際にはノリ養殖の経験を持つ 高校卒程度の者が望ましい。取得資格については特になし。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

182 養 殖

記入昭和 56年 9月 17日

調査者氏名 藤 巻 洋

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
スリランカ	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 57年 4月
	Inland Aquaculture	(女) 人	派遣予定 57年 8月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配 属 先			
1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Fisheries			
(日本語): 漁業者			
2. 隊員勤務先名称: Fisheries Research Division		日本語名称 (漁業研究部)	
所在地: モロタルワ		主要都市からの距離 (コロンボより190キロ)	
3. 事業規模及び内容: ① 現在利用されていない湖の利用法の確立、 ② 湖沼を利用しての淡水魚の養殖、③ 海水魚の養殖、 ④ 流通機構の確立			
4. 設備概要: 現在モロタルワでは養殖池にてテラピオPの養殖が行われている。今年末には、湖のフィルター、冷凍加工工場が完成予定			
(2) 隊員の業務内容:			
1. 隊員の業務上の地位	淡水養殖に関する教師		
2. 技術の範囲	テラピオPについての増殖、アミイタスの技術、漁獲方法等について。		
3. 業務の形態	現地人スタッフの指導にあたる。特に漁獲方法については、湖沼の底に枯木等の障害物があり、容易でない。隊員はモロタルワを基地にし各地の増殖所を巡回指導することもあると思われ。		
4. カウンターパート等	当国における淡水養殖は各地に点在する湖沼で行われているが体系的な技術は確立していません。技術者も極めて少なく、漁業者は新聞広告にて国内及び海外からの技術者を求めている状態です。隊員が配属された場合、研究部スタッフと共に仕事を進めて行くことになる。		
5. 持持等	淡水養殖に必要な最低限の持持はあるか、充分とは言えない		
6. 予備員等	同者にはFAO要員等として、江藤誠一氏(氷室加工)の他、淡水養殖分野では中国人、外人が勤務中である		
7. 使用する言語	英語、シンハラ語		
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 水産資源の調査に与れば、当国における海洋漁獲は約25万t(年間)と告知され、現在約13~15万tの漁獲量がある。しかし石油の値上げで経済的には現在の漁獲量が限界と言われ、特殊な魚については輸出も行われているが、国民の重要な蛋白質源としては現在の漁獲量では充分でない。一方国内には古くから漁業用としての湖沼が沢山ありそれを利用して、体系的な淡水魚の養殖技術の確立を			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): [切望している]			
○大卒(増殖学科) ○テラピオPについての知識を有すること			
経験1年以上			

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表



182 養 殖

記入昭和 55 年 3 月 4 日

調査者氏名 大橋元裕

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) アビヤト アルアスマルク	(男) 1 人	訓練開始 S 55 年 10 月
	(日本語) 養 殖	(女) 人	派遣予定 S 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 General Establishment for Fisheries.

イ. 配属先名称 (現地公用語): アルモアサ アルマ エルアスマルク
 (日本語): 農務農地改革省 水産公園

ロ. 隊員勤務先名称: Thoura Fisheries Laboratory 日本語名称 (サウラ水産試験場)
 所在地: サウラ 主要都市からの距離 (アムスより 140 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 640 km² のアサド湖の水産利用を調査しており、
 連年に引続き西ドイツの援助で Limnology を研究している。アサド湖では現在漁業が行われていないが、その水産利用の一環として 1978 年度より網生養による鯉養
 ニ. 設備概要: 池が始められた。1980 年に 4m x 4m x 2m の網生養を 50 面用い、本格的な鯉養が始められる予定である。

(2) 隊員の業務内容:

① 網生養による鯉養の技術指導を行おう。
 ② 網生養による鯉養一般 網の設定、放養尾数の決定、給餌管理、魚病のコントロール

③ 通常 8:00 A.M. ~ 2:30 P.M. 全曜日。シリア祝祭日は休み。
 ④ '78 年度に網生養が始められ、シリア人の対象者はほとんど網生養鯉養を知らぬ。農学部卒のカウンターパートがいる。
 ⑤ ⑥ 西ドイツ人専門家数名が 5 年間に渡り、アサド湖での水産開発の為、技術援助を行ってきた。1980 年 3 月にて契約が切れ彼らは帰国する。現在は西ドイツの援助により、相当、当水試に入れている。一応、日本の一般的水試に匹敵する備品が利用可能である。

⑦ アラビア語と英語

アラビア、ニジマスの網生養飼育も可能性がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

西ドイツ人が行ってきた、網生養での鯉養試験から本格的な鯉養事業を始める段階にて、外国人専門家が必要とされている。水産公園はアサド湖での網生養鯉養を成功させて、この方法を他の湖。(ホムス湖、ラスタンカム) にも利用する事を期している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について O 印で囲むこと):

網生養鯉養の実務経験 を積んだ人 大学卒程度

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表



171 養 殖

記入昭和 55年 3月 1日

調査者氏名 大橋 元裕

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) タルピト アルアスマルク	(男) / 人	訓練開始 S. 55年 10月
	(日本語) 養 殖	(女) 人	派遣予定 S. 56年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年 4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

General Establishment for Fisheries.

1. 配属先名称 (現地公用語): アルモアササ アルアマ エルアスマルク

(日本語): 農務農地改革省 水産公団

2. 隊員勤務先名称: Hareeb Farm 日本語名称 (ムズリーフ養魚場)

所在地: ムズリーフ 主要都市からの距離 (テラより) 10キロ

3. 事業規模及び内容: Common Carp と テラピアの種苗生産及び食用魚生産
1979年度 鯉 種苗 50万尾、鯉、テラピアの食用サイズ 5t/m 生産
3,000m² 茶振り池 19面、約 300m² セメント池 9面。

4. 設備概要: 半流水式の飼育方法を取り、年間を通じ約 20℃の湧水をポンプアップして用
水にする。事業内容は未定である。今後、隊員が定めていく必要がある。

(2) 隊員の業務内容:

(アラビア語)

- ① 養魚技術者は一人もいない。技術者として雇った人を任せられる。
- ② 上記、半流水式池での鯉、テラピア飼育、鯉の種苗生産、水質管理、魚病のコントロール、オニテナガエビの種苗生産と養殖試験
- ③ 通常 8:00 am. ~ 2:30 p.m. 金曜日と祝祭日が休み。
- ④ 現在、養魚知識経験をもった者が一人もいないので、しゃべりべきカウンターパートを隊員に付ける様水産公団に要請した。
- ⑤ 自動給餌器 2台 (日本からの援助)
- ⑥ 外国人専門家はいつまで閉鎖していない。
- ⑦ アラビア語 と 英語

(2) (他国から)

日本から新魚種の導入。例えば、Tilapia nilotica (赤と黒)、オニテナガエビ、
レニ魚、金魚、錦鯉等の養殖試験を行いたい。その結果、有望視される
ものをこの養魚場の事業内容に加えて行くという。開発も事業内容に含ま
れる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

1979年度より養殖技術者がいなくなるまで事業が開始された。そして鯉の種苗
生産場としてこの養魚場を用いたが、未だ事業内容は未決定である。水産公団の
隊員に対する期待は非常に大きく、隊員のカ次第でこの養魚場の機能が
大きく生かされるであろう。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒業程度、実務経験が2年以上は必要であろう。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

182 養 殖

記入昭和 56 年 4 月 日

調査者氏名 新田 慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) FISH CULTURE	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 養 殖	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 5 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Natural Resources
(日本語): 農業天然資源省

ロ. 隊員勤務先名称: Domasi Fish Farm 日本語名称 (ドマシ養殖場)
所在地: ドマシ 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: (ニジマス養魚場). 池は6面: 稚魚池2, 養成池2, 親魚池/の約 800m².

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

Zomba 山上の森林局に属するニジマス養魚場 (標高約 1,500m) にて森林局の Trout guard, 水産局のテクニカル・アシスタントと共にニジマスの日常管理・飼育・飼料開発試験と養殖専門家の指示に従って行う。

現在、マラウイ湖産 ソックスミールを主原料としたモイスト・ペレットの給餌試験を行っている。

専門家: JICA 派遣専門家

使用言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

金山弘文 隊員の交替

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 専門学校卒以上
- ② 実務経験 2 年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 5 月 20 日

ザンビア

171 養

殖

調査者氏名 奈良輪 睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) <i>Biologist</i>	(男) / 人	訓練開始 56年10月
	(日本語) 水産生物学	(女) 人	派遣予定 (昭和) 57年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

Ministry of Land and Natural Resources

1. 配属先名称 (現地公用語): *Department of Fisheries, Central Fisheries Research Institute*

(日本語): 土地資源省、水産部、中央水産研究所

2. 隊員勤務先名称: *Samfya Research Station*

日本語名称 (中央水産生物研究所)

所在地: *サマフィヤ湖*

主要都市からの距離 (km) より 89 キロ

3. 事業規模及び内容: *サマフィヤ湖の湖畔の都市をザンビアの湖沼の中で最初に設立された研究所 (魚) 実験室、実験用具を整えている。サマフィヤ湖は大部分が湿地帯であり、漁獲量が減少し、資源を改善する研究所とされる。*

4. 設備概要: *研究用ボート、モーターエンジン、顕微鏡、各種漁網、簡単な水質分析用器具、その他実験室にはローヤール試験管等が揃っている。*

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: *水産生物学 研究員*
- ② 技術の範囲: *生産資源量の調査、研究 (魚類学、自然補充率、魚種の交配割合、産卵水域、産卵期の調査、適性漁具の選定) 各種魚類 (主要魚種) の食性、湖の環境調査、新魚種導入の可能性及び必要性の研究、湖の水質及び自然生産量改善のための生物学的研究。サマフィヤ湖は、湿地帯が大部分を占めているため、漁獲量の増大に各種の漁具漁法の試験が必要であり、より大規模の捕獲のため漁具の改良が期待されている。*
- ③ 業務の形態: *研究及び調査活動。*
- ④ 対象者及び協力者の技術水準等: *ここでは、よく訓練された技術補助員 (23名、大半が女性) が勤務しており、良き協力者と扱う。*
- ⑤ 現地に利用可能な器材: *2隻の漁船、9隻のボート、その他小型双胴船等がある。又実験室には簡単な水質分析器具、その他漁具、或る網等が整備されている。*
- ⑥ 職場における外国人: *サマフィヤ湖には、ドイツ、タンザニア、ケニアの外国人がおり、また相談相手と扱う。*
- ⑦ 使用語言語: *英語*

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: *当国は、多数の湖沼を有し、水産資源の利用に国心がなっており、いかにそれを増進し、水産資源の増進、重要魚種の産卵期及び産卵区域における漁具の使用に関する研究を充分に行うに努めている。漁獲量も増進を期している。しかし、魚類資源の調査、未利用資源の活用等詳細な生物学的研究が要請されている。*

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
 ○*大学(水産学系)以上、水産生物学、水産資源学、水産生理生態学、水質学等豊富な知識を有し、
 (漁具)*
 ○*基礎的な漁具漁法の知識を有していること、水産試験場等の実務経験 3年以上、
 (水産学系)*

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 7月 20日

182 養 殖

調査者氏名 吉川 浩史

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
セネガル	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	淡水養殖	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MIUSTERE DEVELOPEMENT RURAL SECRETAREAT

1. 配属先名称 (現地公用語): d'ETAT AUX EAUX et FORETS SERVICE PECHÉ

(日本語): 農業用淡水養殖 林野庁 CONTINENTALE

2. 隊員勤務先名称: Direction des Eaux et Forêts 日本語名称 (林野庁フルブ州事務局)

所在地: Saint-Louis 主要都市からの距離 (フルより250キロ)

ハ. 事業規模及び内容: セネガルの淡水養殖は内陸地方にあり、林野庁が所管している。フルブ州はセネガルの流域の州であり、淡水養殖の場として、RICHARD-TOLLに養殖場がある。専門職員(海外留学経験者)は少ない。

ニ. 設備概要: フルブ州にある養殖場は養殖池6個(1個約1000m²)、木、機材倉庫がある。水はセネガルの川から取り入れられている。エサタンク池もある。

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務はセネガル人職員と協力してフルブ州の養殖場を主として、ラピエを中心とした養殖業務に力を入れる。セネガルにはこの技術は汽水と淡水が1年365日ある期間が多い。この他に優良な品種が導入されることはない。アメリカUSPが養殖を専門にするメーカーが、専用の機械をこの国に供給している。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

USPが専任しているが、余り専門的に知らないので、成績は上がっていない。日本人による(技術的にノウハウあり)技術指導による成果を上げたい。(2人)。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大学(養殖関係学科卒) 実務経験と、簡単に成果を上げたい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 9月 18日

養殖 182 養殖

調査者氏名 坂牧嘉昭

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
トシカ国	(現地公用語) Marine Biologist	(男) 1人	訓練開始 55年 6月
	(日本語) (海洋生物学)	(女) 人	派遣予定 55年 10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture, Forests & Fisheries
(日本語): 農林漁業省

ロ. 隊員勤務先名称: Fisheries Division 日本語名称 (水産局)
所在地: 又クアア (首都) 主要都市からの距離 (より 0キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1978年10月、日本の水産無償資金協力にて、
建設された、水産センターには、一応、Laboratory, 7-7 2377,
と ~~建設~~ 計画している。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: Fisheries Research Officer の下で、水産研究者として勤務する。

② 技術の範囲: 採集、トシカに於いていかなる種類の養殖が出来るか、その可能性を追求し、特にトシカ海域の海洋生物一般の採集とその種属に因る繁殖作用の知識と技術が要求される。

③ 業務の形態: 各種海洋生物の採集のための出張、分類分析の実験室勤務。

④ からのレポート: 特に決まらぬが、水産局職員の中から有望なる者を指名可能。

⑤ 利用する機械: 別記のとおり。

⑥ 母国人の配置: 黄人の局長も最近文部省にトシカ人で、フィジー出身、南太平洋大学等の留学に帰った者が、専ら地位につき、ある。ベトナムの日本人専門家2名が水産局に2名勤務中。

⑦ 使用する言語: 英語。(トシカ語は赴任後自習予定)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

西アフリカは、本州に研究の結果、エビの養殖の可能性が所与の
トシカに有利に思われる。トシカに於いては、水産資源の不足。
トシカ水産局には、採集、有望な資源とあり、この養殖産業の開発
を目指し、本件、海洋生物学隊員に於ける期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 海洋生物学又は関連する分野における所定の学内を履修し、
研究調査の経験が豊富である。

○ 英文レポート提出能力。